

2026年新1年生用 わくわく入学準備BOOK

かがやけ！たまっ子

1年生



©多摩市



©2025 TAMAMA

- ★ 新1年生の保護者のみなさんへ
- ★ これでバッチリ！入学までのスケジュール
- ★ 入学をむけて大切にしたい7つのこと
- ★ 自分を守る6つの約束
- ★ 入学前の不安解消Q&A ~気げなること、お答えします~
- ★ 小学1年生の1日&1年間の学校行事
- ★ 現在1年生の保護者&先生からの入学準備アドバイス

- ・子どもたちの放課後の居場所のご案内
 - ・小学生が利用できる子育て支援サービス
 - ・その他の子ども向けの取り組み
- も読んでニャ！

新1年生の 保護者のみなさんへ



教育長
千葉 正法

学校、家庭、地域と連携していくために

春にはいよいよ小学校生活が始まりますね。期待を胸に子どもたちが元気に小学校へ登校する姿を思い浮かべると、私もとてもうれしい気持ちになります。

さて、多摩市では、小学校から始まる9年間の義務教育において、「2050年の大人づくり」をスローガンに各学校の特色や地域性を生かした教育を推進し、「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」のそれぞれの力をバランスよく育て、「生きる力」を育むことを目指しています。そのためには、学校、家庭、地域の三者が手を携えて、子どもたちがこれからの成長と学びを深めていくための支援をしていくことが大切です。

子どもたちにとっても、保護者の皆様にとっても、小学校入学前と入学後の環境の違いに戸惑うことがあるかと思います。小学校生活で大切にしてほしいことや、小学校入学前に学校の様子を少しでも分かっていただければと思います。本冊子を作成しました。入学前の準備の参考になればと思います。

入学後は、小学校の教職員が一丸となってお子様の学びと成長を支えていきます。保護者の皆様におかれましては、市立小学校の教育活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



保幼小連携担当校長
森 信行
(多摩市立南町小学校校長)

おっこつ たの 学校は楽しいところだよ！

みなさん、こんにちは。もうすぐ1年生になるみなさん、入学を楽しみにしていますよ。

小学校では、勉強や運動、友だちとのあそびなど、たくさん楽しいことがあります。

はじめはドキドキするかもしれませんが、先生やお友だちが助けてくれるので、安心してくださいね。

一日一日を大切に、自分らしくすごしてほしいと思います。みなさんと会える日を、心から楽しみにしています。



多摩市私立幼稚園協会
会長
有馬 肇樹
(緑ヶ丘幼稚園園長)

一人ひとりが輝く学校生活を！

お子様は人生最初の集団生活である幼稚園、保育園等で数多くのお友達や先生と出会い、初めてのことに笑顔で挑戦し、心身共に大きく成長いたしました。いよいよ4月から希望期待いっぱい楽しい小学校生活が始まります。多摩市及び多摩市私立幼稚園園長会等では幼児期に培われた力が今後も継続して伸びていけるように、保幼小連携について様々な取り組みを行っております。そしてお子様の成長を我々関係者が見守り連携し、小学校生活において一人ひとりが楽しく輝いて送れるように「かがやけ！ たまっ子1年生」を作成いたしました。お子様の個性が生かされ、充実した学校生活になることを今後も応援してまいります。



多摩市私立保育園
園長会 会長
山口 明日子
(みどりの保育園園長)

“ひとり”が“みんな”と共に育つことを願って

乳児期は汎山の大人からの愛情をベースにして「基本的信頼感」がつくられ、非認知能力と言われる「心の力」が育まれます。幼児期では、この「心の力」を土台に、自らまわりと関わり、遊びを通して必要な能力や態度を獲得できるよう、保育者が意図をもって子どもを取り巻く環境を構成しています。こうして育まれた力は、入学後の生活や学習においての基盤となることでしょ。何よりも子どもたちがかけがえのない存在であり、一人一人の成長を願う！気持ちには、保育者も小学校の教職員も同じです。この度改定された「かがやけ！ たまっ子1年生」には新しいテーマも入っています。本冊子が入学準備の安心の一助となることを願っています。



東京都認証保育所
連絡会
松沢 敬明
(みらい保育園代表)

「挨拶」「感謝の気持ち」「相手を思いやる気持ち」を大切に

子どもたちがランドセルを背負って笑顔で小学校に通う姿が浮かびます。園では、子どもたちが回らないように「挨拶」や「感謝の気持ち」を第一として、お友だちとの関わりや「見て・まねて・学ぶ」、また、ひらがな表や数字の會読及び行事を通して、「自分から挑戦していく姿勢」や「相手を思いやる気持ち」が育まれてきたように感じます。小学校では「学びの場」へと変わっていきます。不安感も出てくると思いますが、「挨拶」「感謝の気持ち」を大事にして「相手を思いやる気持ち」があれば、お友だちと仲良く一緒に多くの経験を学んでいけると思います。

子どもたちの力になれるように「かがやけ！ たまっ子1年生」を是非一読いただければ幸いです。これからのお子様の輝かしい「みらい」を願っております。

これでバッチリ!

入学までのスケジュール



10～11月	★ 就学時健診	就学する小学校で健診を受けます。 就学支援シート「じゅんぷ」が全員に配布されます。作成や提出については、幼稚園・保育園の先生と相談してください。
	★ 学童クラブ申込み	10月上旬のたまご広報とホームページにてお知らせします。幼稚園・保育園にもポスターを掲示します。 (1月頃には面接があります。)
1～2月	★ 入学通知書の確認	入学式の日程等が記された入学通知書が送付されます。
	★ 入学説明会	就学する小学校で説明会があります。保護者が用意する物などの説明があります。 (最近では保護者が作らなければならないものは少なくなっています。) 就学支援シート「じゅんぷ」を提出する場合は受付で提出します。
3月	★ 通学路の確認	入学説明会のときに通学路を説明します。小学校まで歩いてみましょう。
	★ 小学校の先生と面談	食物アレルギーのある子の面談を行います。 就学支援シート「じゅんぷ」で面談を希望する欄に○を付けた場合、小学校の先生と面談を行います。
4月	★ 入学式	待ちに待った入学式です。

★就学支援シート「じゅんぷ」って?

★お子様の様子、ご家庭や就学前編組で大切にしてきたことや配慮してきたことを小学校に引き継ぎ、就学後の学校生活をより楽しく充実したものにいくために作成するシートです。提出の希望がある場合のみ、保護者が作成し、学校に提出します。

入学にむけて大切にしたい7つのこと

1 楽しい学校生活は規則正しい生活から

お子様の学校生活を楽しく、学びの多いものにするためには、規則正しい生活習慣の確立が欠かせません。具体的には、「早寝」「早起き」「朝ご飯」です。例えば、毎日の時程を決め、表にするなどし、親子で意識してみてもいいかもしれません。

十分な睡眠と栄養をとり、気持ちのよい朝を迎えることができれば、元気な学校生活を送ることができることでしょう。



POINT

個人差はありますが、新しい環境では子どもたちは不安を感じたり疲れをためやすかったりしやすいものです。土日はしっかりと休養をとって、週明けの登校に備えられるといいですね。

2 あいさつができると人の輪が広がります

あいさつは魔法のことばです。「おはよう」「さようなら」「いただきます」「ありがとう」「ごめんなさい」など、相手に伝える場面や言葉は様々あります。あいさつをすると、会話のきっかけになり、人間関係が広がります。あいさつをされると、うれしい気持ちになります。

あいさつは、コミュニケーションのはじめの一步です。あいさつ上手になるためには、大人がよいモデルとなる必要があります。まずは家庭内で習慣化できるとよいですね。



POINT

あいさつはする側もされる側も気持ちのよいものになるよう心がけましょう。そのためには、相手の目を見る、笑顔で接することができるようにするといいですね。

3 身の回りのことが自分でできるように

身の回りのことが自分でできるようにするには、わかりやすく説明し、見守り、ほめることが大切です。もし準備したものが間違っていたとしても、まずは自分で準備できたことをほめ、自信をもたせてあげましょう。自分でできたことをほめることで、自主性が育ち、自分で考えて行動する姿勢が身に付きます。

幼稚園や保育園と比べて自分で管理することが増えます。ご家庭でもまずはハンカチなど身に付ける物の管理から始めてみるとよいでしょう。



5 人の話を聞くことは学校生活の基本です

人の話を聞くときは、「話している人を見る」「人が話しているときは話をしない」「話したいときは手を挙げる」「最後まで話を聞く」などがあります。このように、話を聞くことは、授業はもちろん、学校生活をスムーズに通うための基本となります。人の話を聞く姿勢がもてると、大切なことを聞き漏らさないだけでなく、人の話に興味を向けることができるようになります。ご家庭で本の読み聞かせなど人の話を聞く経験を増やしていけると、言葉からイメージする力を育むこともできます。

POINT

人の話を聞くことで自分で経験できないことや思いつかないことなど、自分の世界を広げることがもります。人生に影響を与える素晴らしい言葉との出会いもあるかもしれません。

4 困ったことは大人に伝えられる習慣を

学校生活では「具合が悪い」「物がない」など、困ったことを大人に伝えられることがとても大切です。困ったときに泣いているだけではなく、自分の言葉で大人に伝えられるよう練習していきましょう。

そのためにも、大人が先回りをして対応してしまうのではなく、子どもが伝えるのを待ってあげたり、SOSを出しやすい関係を作っておくことも必要です。子どもが言えたときは、ほめてあげてください。

POINT

困ったことを伝えられるのはもちろんのこと、嫌な気持ちを伝えられるようになることも大事。子どもの気持ちを否定的にとらえず、共有してあげられる姿勢が大切です。また、保護者以外の大人にも困ったことを伝えられる練習ができるといいですね。



6 たくさんほめて親も子どもも気持ちよく

子どもはほめることによって大きく成長していきます。例えば、結果やできばえがどうであれ、挑戦する姿勢やその過程をほめることで、挑戦する気持ちは育ちます。わからない、できないと言ったことをほめれば、伝えることをためらわない気持ちも育ちます。ほめるポイントは、何がよかったのか具体的にほめること、小さなことでもほめること、その場でわかりやすくほめることです。「助かった」「ありがとう」の感謝のことは、人のために活動する気持ちを育てますし、自分の自信にもつながります。ほめることは万能の手段です。



POINT

たくさんほめるためには、子どものことをよく見ることが大切です。小さなことでも、昨日までできなかったことができるように、子どもは大きくなっていきます。ぜひ、子どもの小さな成長を見つけてほめてあげてください。

7 失敗は成長のチャンス 大人は温かく受け止めましょう

「失敗した子=悪い子」ではありません。子どもが失敗したら、「嫌だったことや難しかったことがあったのかな?」「どうしたら次はうまくいくかな?」と親や周囲の大人は温かく受け止め、一緒に振り返ることで、子どもは安心して相手の気持ちや対処法を考えることができます。

例えば、子どもが友達の大げな物を壊してしまったとき、周囲の大人は感情的にならず、まずは共感し、優しい口調で経緯を聞きましょう。それから友達の良いところを想像し、謝り方や対処方法を一緒に考えることが大切です。

大人は子どもの自己肯定感を傷つけないよう気をつけましょう。

子どもは失敗しながら共感する力や問題解決力を学び、成長するものです。



自分を守る 6つの約束

小学生になると、毎日の登下校、お友達と遊んだり帰りに子どもたちだけ、または一人で外を歩く時間が多くなります。子どもが安全・安心に過ごすためには地域の見守りとともに「自分の身は自分で守る」意識をもたせることが大切です。ご家庭でも、安全・安心についてお子さんと一緒に考えてみてください。

1

周りをよく見る・聞く



もし一人になったときは、周りをよく見て、よく聞いて歩くようにしましょう。

2

一人にならない

学校に行くとき、遊びに行くとき、帰るときにはお友達と一緒に行動するようにしましょう。



3

車とアイコンタクト

「車は止まってくれる」「大人は避けてくれる」そう思い込むのは危険です。横断歩道を渡るときは、車や自転車の運転手と目を合わせるようにして、渡る意思を伝えましょう。



4

触られない距離を取る

あいさつをするとき、話をするときなど、相手がどんな人でも手が届かない距離を取るようにしましょう。



5

できません！を伝える

知らない人にお話ぐいごをされたり、誘われたりしたときははっきり断るようにしましょう。



6

逃げる・助けを呼ぶ

「怖い」「嫌だ」と思ったときは、助けてくれる人がいるところまで逃げましょう。大人やお家の人に何があったか伝えられるようにしましょう。



いざというときの「防犯ブザー・防犯ホイッスル」

逃げるときや助けを呼ぶときは、防犯ブザー・防犯ホイッスルが役に立ちます。すぐに手の届くところにつけること、いざというときにすぐに鳴らせるように練習しておくことが大切です。

防犯ブザーは止める練習もしておく、間違えて鳴らしてしまったときにあわてずに済みます。また、時々電池の確認もおきましょう。



こども110番

みなさん、「ビーボくん」を知っていますか？ビーボくんは「こども110番」の目印です。

知らない人に声をかけられたり、あとをつけられたりして怖いと思ったら、ビーボくんが隠れた「こども110番」のプレートが貼られているお家やお店に助けを求めましょう！

各ご家庭では、いざという時に「どこに」「どのように」助けを求めらるよう、確認しておきましょう。



「いかに・お・す・し」を見えよう

いかに ぬらない おおごまかせず さぐにげる しらせろ



入学前の不安解消 Q&A



～気になること、お答えします～

Q 読み書きはどれくらいできるようになっていけばよいでしょうか？

A 自分の名前や読み書きができるようになっていましょう。

学校生活では自分の座席や棚の場所は文字で示されていますので、自分の名前や読み書きができるとうよいでしょう。ただし、小学校に入ってから、ひらがなの学習を行いますので、無理に

ひらがなの読み書きを覚える必要はありません。この時期は、読み聞かせや会話を通して語彙を増やすことが大切です。

なお、お子さんの興味に合わせてひらがなの読み書きに取り組み場合には、鉛筆の持ち方に気を付けてあげてください。



Q 「いじめ」が起きないように学校ではどのような取組をしているのですか。

A 「いじめ」は絶対にあつてはならないものです。すべての子どもたちが安心して学ぶことのできる学校づくりに努めます。

多摩市では、多摩市民全体でいじめの問題を防止するために、平成29年3月に『いじめ防止対策推進条例』を制定しました。条例において、いじめを行ってはならないこと、いじめを許してはならないことなどが決められてい

ます。学校では、『学校いじめ防止基本方針』に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めています。

子どもたちには、「いじめについての授業」により、いじめは絶対に許されないものであることを伝えます。さらに、「いじめについてのアンケート」を年3回行い、いじめの早期発見につなげています。

心配なことがあれば、些細なことでも学校にご相談ください。

Q 小学校に入ると、担任の先生と話す機会が減ってしまうことが心配です。

A 学期に1回程度保護者会や個人面談があります。

小学校では、保護者と担任の先生が直接話をする機会として学期に1回程度保護者会や個人面談があります。

また、日常的には、主に連絡帳で連絡を取ります。その他、必要に応じて電話でのやりとりや面談を行うことも可能です。担任以外にも、養護教諭やスクールカウンセラーなどとも相談をすることが出来ます。小さなことでも、学校に相談してください。行事などのお知らせは、学校便りや学年便りに掲載されますので、ご覧ください。

Q 給食は苦手なものも食べなくてははいけませんか？
また、時間内に食べ終わらなくて残されないか心配です。

A 楽しくマナーを身に付けてながら食事することが目的なので心配いりません。

給食は基本のマナーを身に付けながら楽しく食事することが目的となり

ます。苦手なものや食べる量について心配がある場合は、担任の先生と相談しながら進めていくとよいでしょう。

給食の時間の長さは学校により異なりますが、1年生の当初はゆっくり時間をかけていき、徐々に学校の給食の時間に合わせていきます。残されて食べることはありません。

Q 多摩市の特別支援教育について教えてください。

A 一人ひとりの障がいの特性と発達の段階に合わせて、多様な学びの場があります。

多摩市特別支援教育推進計画に基づき、誰一人取り残さない視点に立つて教育的ニーズに応じた教育を推進しています。多摩市の特別支援教育については、下記二次元コードをご参照ください。各

小学校では、ユニバーサルデザインの考えに基づき、楽しく学び合い「わかる」「できる」授業づくりを目指しています。また、子どもたちが合理的配慮を受け充実した学校生活を送ることができるよう取り組んでいます。授業や学校生活に関する心配などは、入学後に各小学校にてご相談ください。



小学1年生 & 1年間の の1日 学校行事

小学1年生の1日 (例)

7:50~8:20	登校	1学期の始めに集団登校する学校もあります。
8:25~8:40	朝の会	月曜日は児童朝会、木曜日は児童集会有る学校が多いです。他の曜日は朝読書や朝学習を行う学校もあります。
8:40~9:25	1時間目	1時間目と2時間目の間に、5分の休み時間がある学校が多いです。トイレに行ったり、教室移動をしたりします。
9:30~10:15	2時間目	
10:15~10:35	中休み	20分程度の休み時間。天気の良い日は校庭に出て遊ぶように促している学校が多いです。5分前の予鈴が鳴る学校もあります。
10:35~11:20	3時間目	
11:25~12:10	4時間目	
12:10~12:55	給食	当番活動として給食配膳を順番に行います。 高学年の放送委員会が楽しい放送を流します。 
12:55~13:40	昼休み・掃除	校庭に出て遊ぶことが多いです。担当の場所をみんなで掃除します。
13:45~14:30	5時間目	1年生の5時間目の始まりは学校により違います。 4月下旬から週1回程度の学校が多いです。
14:30~14:40	帰りの会・下校	宿題や翌日の持ち物などを連絡します。 4月当初は集団下校する学校もあります。

*学校生活に慣れるため、4月当初は給食後に下校します。
入学後、各学校から配布される毎月の予定表等にて下校時刻をご確認ください。

1年間の学校行事 (例)

4月	入学式 / 保護者会 / 健康診断・身体測定 / 学校探検 / 1年生を迎える会	12月	個人面談
5~6月	授業参観 / 運動会 / 遠足 / 交通安全教室	12~1月	冬休み
7~8月	個人面談 / 夏休み	2月	授業参観
9~10月	運動会 / 校外学習	3月	6年生を送る会 / 修了式 春休み
11月	学習発表会・展覧会 / 遠足		

※学校によって行事は違います。2学期制の学校もあります。
※運動会は、学校によって5・6月または10・11月に実施しています。

水泳学習

- ☆全ての小学校が、校外の施設で水泳授業を実施しています。
- ☆1年生は年4回(1回2時間程度)実施します。時期は学校によって異なります。
- ☆水慣れや泳力に応じて、教員と専門のスタッフによるチーム・ティーチングの指導を受けます。
- ☆各施設へは、学校と施設との距離に応じて、徒歩や貸切バスで移動します。

一人1台タブレット端末の活用

- ☆タブレット端末は学校から貸与されるものであり、使用のルールがあります。
- ☆例えば、生活科で育てた朝顔の様子を撮影・記録したり、図画工作の授業で制作した作品を写真に撮って発表したりします。
- ☆音声入力や50音入力により検索機能を使って調べ学習をしたり、意見共有アプリを活用し感想を発表したりします。
- ☆自宅に持ち帰り、使用する場合があります。

現在1年生の保護者
&先生からの

入学準備アドバイス

子どもたちは、小学校生活で、たくさんの「はじめて」を経験します。はじめての学習、はじめての場所、はじめての先生やお友達…そのような環境で、時には困った場面に遭遇することもあってしょう。何に困っているのか、その内容はそれぞれです。

様々なことができるようになるには個人のペースがあるため、以下の内容は就学前に必ずできていなくても大丈夫です。学校も子どもの成長を温かく見守ります。

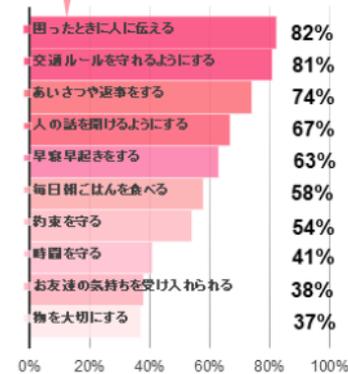


ここが
ポイント

現在1年生の保護者が、新1年生の保護者に伝えたい
「就学前にできるようになった方がよいと思うこと」

現在1年生の保護者が新1年生の保護者に伝えたい「就学前にできるようになった方がよいと思うこと」では、「困ったときに人に伝える」が最も多く、「交通ルールを守るようにする」「あいさつや返事をする」と続く結果になりました。

2017年度の調査では「自分のことは自分でできるようにする(生活習慣の自立)」が1番多く(※今回の調査ではランク外)、「交通ルールを守るようにする」「あいさつや返事をする」は同じく2番・3番に続く結果でした。



その他のできるようになった方がよいこととして、「トイレに自分から行くようになる」「名札の安全ビンの取り扱いができるようになる」「ジュースのパックを潰せるようになる」「ぞうきんをしぼれるようになる」等のアドバイスがありました。



ここが
ポイント

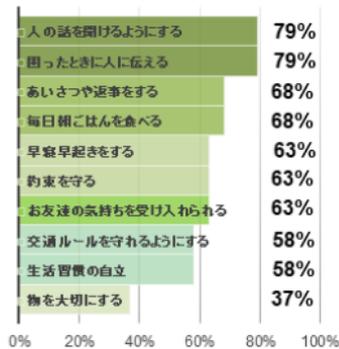
1年生の担任の先生が、新1年生の保護者に伝えたい
「就学前にできるようになった方がよいと思うこと」

小学校1年生の担任が考える、新1年生のお子様の保護者に伝えたい「就学前にできるようになった方がよいと思うこと」では、「困ったときに人に伝える」「人の話を聞けるようにする」が最も高い値となり、次に「あいさつや返事をする」となりました。どれもコミュニケーションや社会性に関する項目です。

学校では、子どもたちが安心して「困っていること」を表現できるよう、心理的安全性の高い学級運営に努めています。今は何に困っているのか具体的に伝えることができなくても、表情や仕草で表現したり、教師が気持ちを代弁したりすることで、少しずつ援助を要請できるスキルを身につけられるよう指導していきます。

「毎日朝ごはんを食べる」、「早寝早起きをする」も高い値となっています。小学生の望ましい睡眠時間は、10時間前後とされています。基本的な生活リズムを整えることにはご家庭の協力が不可欠です。ご家庭において規則正しい生活を心がけてください。

「交通ルールを守るようにする」は、学校の所在地によって結果が異なりました。ペDESTリアンデッキで通学できる地域の小学校では、「横に広がって歩かない」など、学校に応じた交通ルールを指導しています。



保護者と先生、両者に共通して大切だと感じているものがある一方で、比較すると、「人の話を聞けるようにする」については1年生担任側が、「交通ルールを守るようにする」については保護者の方が多くの必要性を感じており、その感じ方に差が出ているのが特徴です。



これらのデータは、令和7年7月に多摩市内の小学1年生の担任教師19名と、小学1年生のお子さんの保護者の方々183名に対して行ったアンケート結果によるものです。

子どもたちの 放課後の居場所のご案内

この他にも、習い事や祖父母宅、ひとりで留守番など、ご家庭の状況、お子さんの状況で様々な放課後の過ごし方があります。ぜひ、親子でお話してください。

問い合わせ先：児童青少年課 ☎042-338-6884



事業名

こどもなこ

こどもなこ

申込方法

学童クラブ（通年入所）

【費用】

月額 7千円(現時点)

【対象】

就労等の要件がある原則1～4年生

【開所日】

原則、月～土曜日

【開所時間】

下校時～午後6時
※学校休業日は午前8時から
※延長育成（有料）
利用時は午後7時まで

学童クラブ（8月～一時入所）

【費用】

月額 7千円(現時点)

【対象】

就労等の要件がある1～6年生

【開所日】

原則、月～土曜日

【開所時間】

下校時～午後6時
※学校休業日は午前8時から
※延長育成（有料）
利用時は午後7時まで



放課後子ども教室

【費用】

無料

【対象】

1～6年生

【実施日・実施時間】

実施日と実施時間は学校により異なります。詳細は公式ホームページをご覧ください。



児童館

【費用】

原則、無料

【対象】

0歳～中高生

【開館日】

月～土曜日（一部の日曜日を開館する館があります）

【利用時間】

原則、午後6時まで
※祝日等の休館日があります。休館日や開館時間は館により異なりますので、詳細は公式ホームページをご覧ください。



☆両親ともフルタイムで働いている。
☆ひとり親で看護学校に通っている。
☆父親はフルタイム、母親は一日10時～16時、週4日のパートで働き始める。

☆3年生で普段は大丈夫だけど、学校が長期休みの間は一日が長いので留守番が心配。
☆勤務が9時～14時で週4日。
☆5年生だけど学童クラブが必要。

☆同じ学校の子と過したい。
☆学校外で放課後を過ごすのが不安
☆遊んだり、宿題をしたり、自由に過ごしたい。
☆塾や習い事が始まるまでの間、自由に過ごせる場所があると助かる。

☆新1年生で友達がいらない。
☆地域で好きな時間で安全に遊ぶ場所があるといいな。
☆留守にする間、放課後過ごす場所があると助かる。



【申請期間】

新年度の申請は例年10月下旬より開始しています。



【申請期間】

6月11日～7月10日（土日祝日に当たる場合は翌開庁日）の間で申請をしてください。

【申込方法】

登録制による自由参加です。
参加を希望する場合は、参加申込書を各実施校に提出してください。

【利用方法】

はじめて利用する時には、「児童館使用者カード」の提出が必要です。



小学生が利用できる 子育て支援サービス

その他の子ども向けの 取り組み

問い合わせ先: 子ども・若者政策課 ☎042-338-6958

事業名

ファミリー・
サポート・センター

バルテノン多摩
こどもひろばOLIVE
一時保育事業

病児・病後児
保育事業

子ども
ショートステイ事業

市内の子ども・誰でも食堂

【費用】
登録料500円他、
提供会員への報酬、
食事代等実費負担
【対象】
生後3か月～中学生
【利用時間】
7:00～22:00



【費用】
多摩市在住の方は
1時間1人あたり
700円
【対象】
1歳～小学3年生
【利用日】
月～日曜日（バル
テノン多摩休館日
は除く）
【開所時間】
9:00～18:00
（1時間単位、1
回4時間まで）

【費用】
日額2000円（減
免規定あり）
【対象】
多摩市内の学童ク
ラブに入所してい
る児童で安静確保
のため集団保育を
受けることが困難
かつ家庭での保育
に欠ける児童
【利用日・時間】
9:00～17:30



【費用】
所得に応じて負担
あり
【対象】
2歳～中学生
【利用期間】
1回につき6泊7日
以内



子ども・誰でも食堂ってどんなところ？

子ども・誰でも食堂とは、地域の団体等が子どもやその家族に、無料または低価格帯で栄養のある食事を提供して、「地域交流の場」や子どもの「見守りの場」を提供する活動です。

お子様が1人でも安心して利用できる場所として、多くの方にご利用いただいています。

お近くの子ども・誰でも食堂をぜひ一度ご利用してみてください。



子ども・誰でも食堂について詳しくはこちら ▶

こんなところ

こんな人

- 利用会員
仕事や家庭の都合で育児の援助が必要なる方
- 提供会員
20歳以上で心身ともに健康で、子育てのお手伝いをする意欲のある方

バルテノン多摩でのイベント参加時や、多摩センターエリアでのお買い物等でちょっと子どもを預けたい、という時にお子さんをお預かりします。

お子さんが病気期間と病後、病気回復期で家庭で保育ができるいときにご利用いただけます。



保護者の事情により、一時的にお子さんの保育ができない場合に市内の保育協力家庭などで宿泊を伴ってお子さんをお預かりします。

子ども・若者向けポータルサイト

多摩市では、子ども・若者の意見表明・まちづくり参画を推進するためにポータルサイト「子ども・若者の主張」を運営しています。イベント情報や相談に関することなどを本サイトにまとめていますので、ぜひ一度ご覧ください。



子ども・若者向け
サイトはこちら ▶



申込方法

多摩市ファミリ
ー・サポート・
センター

☎042-357-
5105

バルテノン多摩こ
どもひろば
OLIVE

☎042-400-
7715

TAMAエンジェ
ルガーデン
☎042-400-
5672

【住所】
多摩市豊ヶ丘1-
59-10コーポク
レイン1階

まず事前にこども家庭センターにご相談のうえ申請をお願いします。こども家庭センター

☎ 042-355-
3833



困った時は相談してね！

こども家庭センターにじたま

子どもと家庭に
関すること

- ▶ 月～土曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～18:00
※面接相談予約制
- ☎ 042-355-3777 (相談専用)

発達に
関すること

発達・教育初回相談窓口

- ▶ 月～土曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～12:00
13:00～17:00
- ☎ 042-374-1038



←こちらの二次元コード
からも申し込みできます。

就学支援シート
「じゃんぷ」に関
すること

教育センター

- ▶ 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00
- ☎ 042-372-1010

放課後の居場所
に関すること
(P15,16参照)

子ども青少年部児童青少年課児童青少年担当

- ▶ 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00
- ☎ 042-338-6884

幼児教育・保育
に関すること

子ども青少年部子ども・若者政策課幼児教育・保育担当

- ▶ 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:00
- ☎ 042-338-6850

発行日 令和7年10月

編集 多摩市教育委員会 / 多摩市子ども青少年部

発行 多摩市

